

令和4年度
日野市

憲法記念日行事講演会

AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争
～『記憶の解凍』と交感性～

5月22日（日）

14：00～16：00



講師：庭田 杏珠 氏

東京大学学生。同大学教授渡邊英徳氏と「AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争」を共著。令和2年度学生表彰「東京大学総長賞」等受賞

『記憶の解凍』をとおして見える、私たちとかわらない当時の人々。その暮らしに思いを馳せ、戦争や平和について「自分ごと」として想像し、平和とは何かを一緒に考えてみませんか。

会場

多摩平の森ふれあい館

集会室 6

（日野市多摩平2-9

JR中央線豊田駅徒歩8分）

・会場参加

・又は  zoom

事前パネル展

5月14日（土）～5月22日（日）

各日9時00分～17時15分

多摩平の森ふれあい館3階 集会室前エントランス

講演に先立ち『記憶の解凍』パネル展示を行います。

こちらも是非ご覧ください。

申し込み

定員40名程度
（無料・事前予約制）

下記QRコードのフォームまたはお電話・FAXで、5/17迄に

①お名前②ご住所③ご連絡先をお知らせください。

1歳～未就学児の保育（先着4名）、手話通訳有ご希望の方は5/10迄にお申し込みください。



申し込み・問い合わせ

日野市企画部平和と人権課 ☎042-584-2733 📠042-584-2748

□ 憲法記念日行事講演会

日野市は毎年、憲法を通して暮らしの中の身近なテーマを考える機会として、「憲法記念日行事講演会」を開催しています。本年は「平和」に焦点をあてての開催です。

戦前から戦後の白黒写真をAI（人工知能）技術でカラー化したのち、資料や当事者との対話をもとに手作業で色補正を繰り返し、当事者の記憶にある情景をよみがえらせる「記憶の解凍」。

カラー化した写真は、色・温度・におい、その時代を生きた人々の息づかいがよみがえり、当事者があの時この光景をどのように見ていたのかが伝わってきます。

「記憶の解凍」とおして、私たちとかわらない当時の人々の暮らしに想いを馳せ、戦争や平和について「自分ごと」として想像し、平和とは何かを一緒に考えてみませんか。

講師に「記憶の解凍」の取り組みを進め、展覧会や映像・楽曲制作など、「あたらしい継承のかたち」を探求する庭田杏珠氏をお招きし、お話を伺います。

講師プロフィール

庭田 杏珠（にわた あんじゅ）



2001年、広島県生まれ。東京大学学生。
「平和教育の教育空間」について、実践と研究を進める。2017年、中島地区（現在の広島平和記念公園）に生家のあった濱井徳三氏と出会い、「記憶の解凍」の取り組みを開始。これまでに展覧会、映像制作、アプリ開発など、アートやテクノロジーを通した戦争体験者の「想い・記憶」の継承に取り組む。

国際平和映像祭（UFPFF）学生部門賞（2018年）、「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」外務大臣賞（2019年）、令和2年度学生表彰「東京大学総長賞」などを受賞。東京大学渡邊英徳氏との共著「AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争」（光文社新書、2020年）で「広島本大賞」（2021年）を受賞。2021年8月、HIPPIY氏、はらかなこ氏と楽曲「Color of Memory～記憶の色～」、達富航平氏とMVを制作。音楽とカラー化写真のコラボレーションにも挑戦している。

事前開催

『記憶の解凍』パネル展

期間

5月14日(土)～5月22日(日)
各日9時00分～17時15分

場所

多摩平の森ふれあい館3階
集会室前エントランス

講演に先立ち、当時の写真をカラー化したパネル8枚を展示します。
こちら是非ご覧ください。



写真：濱井徳三氏提供 カラー化：庭田杏珠×渡邊英徳